

2025年度自己評価

岡山商科大学専門学校

1 校訓

「Idea & Try」(新しいアイデアを創造し、挑戦していくことを基本にグローバルな感性を持った人材の育成を目指します。)

2 ミッション(使命、存在意義)

社会の変化に対応すべく、教職員が一丸となって努力を続け、学生の自主・自立の精神と幅広い職業観を育み、問題発見能力、問題解決能力、コミュニケーション能力をしっかりと身に付け、社会に貢献できる人材を育成します。そのために、

- (1) チャレンジ精神を大切にします。
- (2) 確かな学力の向上と進路の実現を目指します。
- (3) 個に応じたきめ細かな指導に取り組みます。

3 ビジョン(将来像、目指す姿)

- (1) 学生が自主・自立の精神と幅広い職業観を育み、社会に貢献できる人材が育成されています。
- (2) 「トラベル観光学科」「動画デザインビジネス学科」「事務職養成学科」の認知度が高まり、多くの学生の学びの場となっています。
- (3) 国際総合ビジネス学科の認知度が向上し、多様な学生の学びの場となっています。
- (4) 経営安定化推進5カ年計画の取組が着実に進んでいます。

4 ビジョン達成のための重点目標(資料1)

- (1) 学生の自主・自立の精神と幅広い職業観を育み社会に貢献できる人材を育成します。
 - ① 資格取得に向けた計画的な指導体制を確立します。
 - ② 能力別授業班編制によるわかりやすい授業や、模擬テストの実施により留学生個々の日本語力を把握した適正な授業展開により、教育の質を向上させます。
 - ③ 進路保証のため資格取得意欲や進路意識の向上に向けて個に応じた指導を充実させます。
 - ④ 2019年度に受けた「高等教育の修学支援制度の対象校」の認定を継続させます。

資料1 学生の現状について

1) 令和7年度の在籍状況

学科名	学年	年初*	合計	退学・除籍	(休学)	年度末	合計
トラベル観光学科	1年生	3名	82名	0名	—	3名	81名
動画デザインビジネス学科		1名		0名	—	1名	
事務職養成学科		1名		0名	—	1名	
国際総合ビジネス学科(留学生)		77名		1名	—	76名	
トラベル観光学科	2年生	4名	81名	0名	—	1名	77名
まんが・ネットショップ学科		1名		0名	—	1名	
事務職養成学科		2名		0名	—	2名	
国際総合ビジネス学科(留学生)		74名		4名	—	70名	
合 計		163名		5名	0名	158名	

* 5月1日現在

在籍管理の徹底により、退学・除籍者数が激減し、出入国管理庁から適正校(クラスI)に選定された。

(R元年度33名 R2年度41名 R3年度22名 R4年度8名 R5年度4名 R6年度6名)

※ R3年度から始めた在籍管理の見直しの成果が数値に反映されて来ており、R7年度も引き続き向学心の喚起と、心のケアを柱とする在籍管理の徹底を心がけた結果、退学・除籍者数は5名となり、1年生に至っては自己都合による退学1名のみという状況になった。次年度もこの方針を継続する。

2) 卒業生の進路状況について

各学生は現状をよく把握し前向きに進路決定に向け活動した。

留学生6名が大学編入学を決めており、うち5名は岡山商科大学に進学した。

● 日本人学科の状況

卒業者数	進学者数	就職者数	未就職者数	進学・就職率
7名	0名	6名	1名	85.7%

● 留学生の状況

	岡山商科大学編入学	他の大学へ編入学	就職	未定	帰国	留年	休学	合計
国際総合ビジネス学科	5	1	63	1	0	0	0	70

3) 学生の資格取得状況（日本人）

	令和6年度(2024年度)			令和7年度(2025年度)		
取得数	2年次生	1年次生	合計	2年次生	1年次生	合計
13科目取得	0	0	0	0	0	0
12科目取得	0	0	0	0	0	0
11科目取得	0	0	0	0	0	0
10科目取得	1	0	1	0	0	0
9科目取得	0	0	0	0	0	0
8科目取得	0	0	0	0	0	0
7科目取得	0	0	0	0	0	0
6科目取得	0	0	0	2	0	2
5科目取得	0	0	0	1	1	2
4科目取得	3	2	5	2	1	3
3科目取得	7	2	9	0	1	1
2科目以下	5	2	7	2	2	4
1名平均取得数	3.3科目	3.5科目	2.6科目	4.1科目	2.8科目	3.6科目

- ・日本人学科の学生数の減少により資格取得数は減少しているが1名当たりの平均値は増えており、意欲的に挑戦する学生の存在が確認できる。

[以下の結果は反映されていない]

- ・留学生学科の学生もコンピュータ関係の検定に取り組み、成果を残している。
- ・日本語能力試験（JLPT）では、能力別クラス編成や校内模試を実施し、合格者数増を目指す取り組みをしている。

4) 上級資格検定者合格数

資格検定名	2年次生(名)		1年次生(名)
	単年度	累積	
Word 文書処理技能認定試験 1 級	0	0	0
Word 文書処理技能認定試験 2 級	0	2	0
Excel 表計算処理技能認定試験 1 級	0	0	0
Excel 表計算処理技能認定試験 2 級	2	2	0
Access ビジネスデータベース技能認定試験 1 級	0	0	0
Access ビジネスデータベース技能認定試験 2 級	0	0	0
PowerPoint プレゼンテーション技能認定試験上級	0	4	1
Web クリエイター能力認定試験上級	0	0	0
秘書検定 2 級	0	0	0
色彩士検定 2 級	0	0	0
日商簿記検定 2 級	0	0	0
国内旅行業務取扱管理者試験	3	3	2
総合旅行業務取扱管理者試験	0	0	0
国内旅程管理主任者	0	0	0
国内旅行地理検定試験 2 級	0	0	0
世界遺産検定 2 級	0	0	0
合 計	5 名	11 名	3 名

日本人学生について、学生数が少ない中でも年度により数の差があるため一概に比較できないが、2 年生はさまざまな事情を抱える学生が比較的多かった割に、1 年次に続いて頑張ることができた。また、1 年生学生に意欲的な取り組みが見られることから、次年度末の結果が楽しみである。

5) 「高等教育の修学支援制度の対象校」の認定を継続している。

(2) 学科の認知度が高まり多くの学生の学びの場となっている。(資料2)

- ① 岡山商科大学 3 年に有利な条件で編入学できる専門学校であることを柱に広報している。
- ② トラベル観光学科は、岡山県内で観光業や旅行業が学べる専門学校であり、旅行業務に関する国家資格が取得できることを伝えている。
- ③ 附属高校への広報戦略を変更し、文化祭やオープンスクールで専門学校の説明ブースを設けている。
- ④ 学校の名前の浸透を目的にした広報を展開している。

資料2 学生募集活動について

1) 体験入学 (オープンキャンパス)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
日本人参加者数 (人)	33 名	45 名	23 名	19 名	41 名
留学生参加者数 (人)	37 名	6 名	43 名	118 名	128 名

※日本人留学生ともに増加した。

留学生には、岡山商科大学日本語別科生 25 名を含む。(令和6年度は47名)

※資料請求数自体は減少しているが、実際に対面で情報収集を行う傾向が見られた。

資料請求 (R4 : 619 人 → R5 : 401 人 → R6 : 432 人 → R7 : 389 人)

2) 令和6年度（2024年度）～令和8年度（2026年度）入試 受験者・入学者数

			令和6年度 (2024年度)		令和7年度 (2025年度)		令和8年度 (2026年度)	
学科名	入学 定員	修業 年限	受験 者数	入学 者数	受験 者数	入学 者数	受験 者数	入学 者数
トラベル観光学科	20名	2年	4名	4名	3名	3名	2名	2名
まんが・ネットショップ学科 動画デザインビジネス学科	20名	2年	1名	1名	1名	1名	2名	2名
事務職養成学科	20名	2年	5名	3名	1名	1名	5名	4名
国際総合ビジネス学科 (留学生)	40名	2年	95名	77名	103名	77名	92名	81名
合 計			105名	85名	108名	82名	101名	89名

- ・国際総合ビジネス学科の入学定員を令和7年度から40名にしており、令和8年度入試では、毎年の辞退者実績から83名に合格を出す方針で選抜を実施した。結果的に入学者数は81名となった。
- ・国際総合ビジネス学科への受け入れは、コンピューター等設備の関係上現状が限界であり、受験者数についても安定的に現状を保てるよう努める。
- ・商大別科からの入学者は、令和7年度に続き、令和8年度も全てがネパール出身者となっている。
- ・日本人学科への志願者は、ほぼ横ばいであるが、3学科ともに増加をめざし広報活動に努める。
- ・附属高校への広報活動を令和7年度から取り入れた形を継続し、推移を見守りながら、附属高校出身者の入学増を目指す。
- ・ワイド（各種のデジタルサイネージと県立図書館広告）＆スポット（地域と年齢を限定したInstagramやFacebook 広告）の広報活動を引き続き展開した。費用対効果が期待できない媒体（デジタルサイネージの一部）を整理し、新たにTVer 広告を採用しより多くの人の目に触れるよう工夫した。

(3) 学科の認知度が向上し多様な学生の学びの場となっている。

- ・留学生学科の日本語教育において、能力別クラス編成による授業を展開した。
- ・「おかやま旅プランコンテスト」の応募者数が年々倍増しており、トラベル観光学科志願のきっかけになることを期待している。

年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
おかやま旅プランコンテスト 応募者数	0	147	237

(4) 経営安定化推進5カ年計画（資料3-1 資料3-2）

2024年1月4日付で経営安定化推進計画（5カ年計画）を策定し、順次取組を進めている。

※2024年度から5年間の経営安定化目標を「学校の魅力は、教育の内容にある。」とし、「学生の夢の実現」「望まれる人材への成長」を教育の目的とした。

資料3-1 経営安定化推進5カ年計画

	取り組み内容	取組状況(2年目)
1	継続(管理経費支出管理・カンセラーの導入・留学生の在籍管理・附属高校特別指定校制度(指定校A) 校内体制の整備(組織再編/業務の見える化/COS 学習システム/教職員の自己評価/学校関係者評価委員会)	キャリアートの充実 (進路業務の効率化を目標)
2	学校運営の効率化(教務規定書・教務細則書・学生準則書による校務の見直し)	学校教育法の変更に合わせて内規等の改訂作業を進めた
3	まんが・ネットショップ 学科から動画デザインビジネス学科へ	動画デザインビジネス学科の授業開始
4	学科のアピール力強化(わかりやすい教育課程表・カリキュラムマップ)の作成	教育課程表・カリキュラムマップ 作成完了
5	新たな留学生学科の新設	具体的な取組なし
6	学校名の変更	具体的な取組なし
7	観光業の魅力発信	旅プランコンテストの実施(応募 237 件)
8	入試制度改革	専各連脱退に伴い、入試時期を中心に入試制度を見直し
9	学納金の増額(物価上昇・最低賃金・他校の状況から考察)	授業料を5万円増額
10	教育の継続性を意識した常勤教員の採用	日本語指導に新卒(資格あり) 1名 日本語指導とマーケティングに関する指導ができる教員1名
11	学習環境の整備	パソコンの更新と Windows11 化を実施 4階パソコン教室の遮熱対策
12	学校運営費補助金の岡山県への要望	国会議員へのロビー活動を継続

資料3-2 教職員体制について

令和7年度は、常勤教員を新たに2名採用した。ともに勤務状況良好で正式に採用となる。
岡山商科大学の学生2名にアシスタント講師として事務職養成学科の指導を依頼した。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
校長	1	1	1	1	1	1
教員・教頭	6	6	6	7	7	7
非常勤講師 アシスタント	21	22	21	20	19	19 2
事務長	1	1	1	1	1	1
事務員	2	2	2	3	3	3
嘱託職員	1	1	1	0	0	0